



中規模 NGO の特色を活かした持続的活動と自治体等との協働によるグローバル市民社会を目指して

特定非営利活動法人埼玉 NGO ネットワーク 理事・事務局長 加藤 陽一

埼玉 NGO ネットワークとは

埼玉 NGO ネットワークは、埼玉県国際協力団体が 1995 年に開催した「さいたま国際協力フォーラム」を機に、ネットワーキングを続けるため 1996 年 1 月に埼玉国際協力協議会を設立したことに始まります。その後、活動の実績を積み重ねながら、2018 年 10 月、特定非営利活動法人埼玉 NGO ネットワーク（冨永幸子代表理事）として新たなスタートをきりました。

埼玉 NGO ネットワークは、埼玉県で海外協力および多文化共生を行う国際協力 NGO のネットワーク組織として、NGO の運営・事業の充実と、埼玉県国際課・埼玉県国際交流協会、埼玉県教育委員会・小中高校・大学、国際協力機構（JICA）、認定 NPO 法人国際協力 NGO センター（JANIC）・全国のネットワーク NGO などとの連携を通して、公正で共生するグローバル市民社会の形成を目指しています。ネットワークには県内でも活発に事業を行っている 18 団体が参加し、また多くの団体と連絡を取り合っています。



ラオス職業訓練事業（認定 NPO 法人 IV-JAPAN）

埼玉 NGO ネットワークの活動

ネットワークの強みは、海外協力、多文化共生の社会的課題に取り組む NGO が経験の交流等により各団体

の運営・事業を高めると共に、自治体や他セクターとの連携を進めることで効果を広げていけることです。

（１）中規模 NGO の特色と持続性

埼玉県の海外協力および多文化共生の NGO のほとんどは中小規模です。大手 NGO の規模を目標にすることは現実的ではなく、むしろ中規模の強みや特色—海外協力では支援国と支援分野を絞り活動を続けることで現地状況をより把握し専門性を高める、多文化共生では市民参加によるきめ細かい現場活動などを活かした、NGO の持続性を目指しています。

このため、毎月、**定例会・勉強会**を開き、NGO を中心に埼玉県国際課、県国際交流協会、JICA 埼玉デスク、大学教授等が参加して意見交換や、専門家を招いて勉強会を行っています。また、**埼玉県国際協力メーリングリ**



日本語教室（認定 NPO 法人ふじみの国際交流センター）



埼玉 NGO ネットワーク定例会・勉強会

ストを開設し、NGO と埼玉県、県教育委員会、各市市民活動所管課などを結ぶ情報共有の場を運営しています。

(2) 自治体等との連携

公正で共生するグローバル市民社会の形成には自治体等の関係機関との連携は不可欠です。埼玉 NGO ネットワークは、NGO と埼玉県、県国際交流協会、県教育委員会、JICA、大学等が、共通する SDGs の課題へ協働する触媒の役割を果たしています。

埼玉 NGO ネットワークは 2019 年 7 月に JICA 東京と共催し、埼玉県・県国際交流協会を後援として、「ともに翔んで SAITAMA! 埼玉県国際協力情報交換会 2019」を開催しました。参加者は、海外協力 NGO、多文化共生 NPO、埼玉県国際課・県国際交流協会・県教育委員会、各市市民活動所管課、大学教授、JICA 東京など 41 団体・71 人。県内の幅広い国際協力関係者が集まり、一日を通して SDGs の理解から海外協力と多文化共生、地域活性化の分科会ワークショップによって、ネットワーキングを進めました。



埼玉県国際協力情報交換会 2019

また、埼玉県には「彩の国さいたま国際交流・協力ネットワーク」があり、県内国際分野の NGO/NPO/交流協会約 200、県内すべての市町村市民活動所管課 63、県国際課・県国際交流協会で構成されています。幅広い国際分野や県内全域に亘ります。埼玉 NGO ネットワークは代表幹事団体として県国際課・県国際交流協会と同ネットワークの活性化の方策を進めています。

この他にも、毎年 2 月に埼玉県国際交流協会と JICA 東京と共催してグローバル市民育成を目指す「グローバルセミナー～地域で育むグローバル市民～」を開催し、県内の教員、中高校生、NGO/NPO、自治体等 60 ～ 100 人の参加を得て、人づくりに取り組んでいます。

毎年 10 月には、埼玉県国際交流協会主催で「国際フェア」がさいたまスーパーアリーナで開催され、約 4 万 5,000 人の来場者が有り、埼玉 NGO ネットワークも出展し市民への広報に努めています。



グローバルセミナー 2019



国際フェア 2019

今後の取り組み

埼玉県の海外協力 NGO、多文化共生 NPO はどの団体も人と資金、それに伴う活動の持続性の課題を抱えています。個々の団体だけでは改善はなかなか進みません。個別 NGO への相談・支援、NGO 間の情報交換や経験交流による課題の改善が必要とされています。

なかでも、中規模 NGO の持続性が重要だと考えています。中規模 NGO の強み、特色を活かした団体の運営、現場活動の充実と政策提言は、全国的、特に地方の NGO 共通の課題となっています。NGO が充実した持続性を確保することで社会的信頼が高まり、関係機関との協働も進むことになります。

埼玉 NGO ネットワークはこれからもネットワーク力を高め、SDGs の課題に向き合い、自治体等との協働を進めながら、NGO による海外協力、多文化共生に取り組んでいきます。